

環境経営レポート

第3号

(運用期間: 2023年4月1日～2024年3月31日)



発行日: 2024年 7月 12日

株式会社 小楠金属工業所

目 次

I. 組織の概要	 P1
II. 環境経営方針	 P2
III. 実施体制	 P3
IV. 環境経営目標	 P4
V. 環境経営計画	 P5
VI. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標	 P7
VII. 環境経営計画の取組結果とその評価, 及び次年度の環境経営計画	 P8
VIII. 当社の取り組み	 P10
IX. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに 違反, 訴訟などの有無	 P11
X. 代表者による全体の評価と見直し・指示	 P12

I 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

株式会社 小楠金属工業所 代表取締役社長 小楠 哲治
小楠熱処理工業株式会社 代表取締役社長 小楠 哲治

2. 所在地

名 称	所 在 地	延床面積	備 考
本社工場	静岡県浜松市中央区篠原町10838	14107.33m ²	
坪井工場	静岡県浜松市中央区坪井町1101	3342.40m ²	
馬郡東工場	静岡県浜松市中央区馬郡町3672-55	2333.31m ²	
馬郡西工場	静岡県浜松市中央区馬郡町3672-61	3500.73m ²	
小楠熱処理工業(株)	静岡県浜松市中央区篠原町10812	1808.80m ²	

3. 環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 太田 正昭 TEL 053-447-2051 E-mail m-ota@ogusu.co.jp
事務担当者 蒔田 典之 TEL 053-447-2051 E-mail n-makita@ogusu.co.jp

4. 事業の概要

自動車・産業機械等の部品製造及びろ過装置の製造・販売

5. 事業規模

2024年5月1日現在

項 目	内 容
売上高	(株)小楠金属工業所 95億7,800万円(2023年4月～2024年3月) 小楠熱処理工業(株) 3億2,880万円(2023年1月～2023年12月)
従業員数	全社 396名 (内訳: 本社工場308名、坪井工場44名、馬郡東工場14名、 馬郡西工場9名、小楠熱処理工業(株)21名)

6. 事業年度

毎年 4月1日～翌年3月31日(小楠熱処理工業(株) 毎年1月～12月)

7. レポートの運用期間及び発行日

環境経営レポートの運用期間 2023年4月1日～2024年3月31日
環境経営レポートの発行日 2024年7月12日

8. 対象範囲

活動: 自動車・産業機械等の部品製造及びろ過装置の製造・販売

対象組織: 全社(本社工場、坪井工場、馬郡東工場、馬郡西工場、小楠熱処理工業(株))

Ⅱ 環境経営方針

[環境理念]

当社は、社是・社訓を基本理念とする。

精密部品加工メーカーとして企業の社会的責任を自覚し、より良い製品づくりを通して、地球温暖化問題や地域の環境活動に積極的に、従業員一丸となり取り組みます。

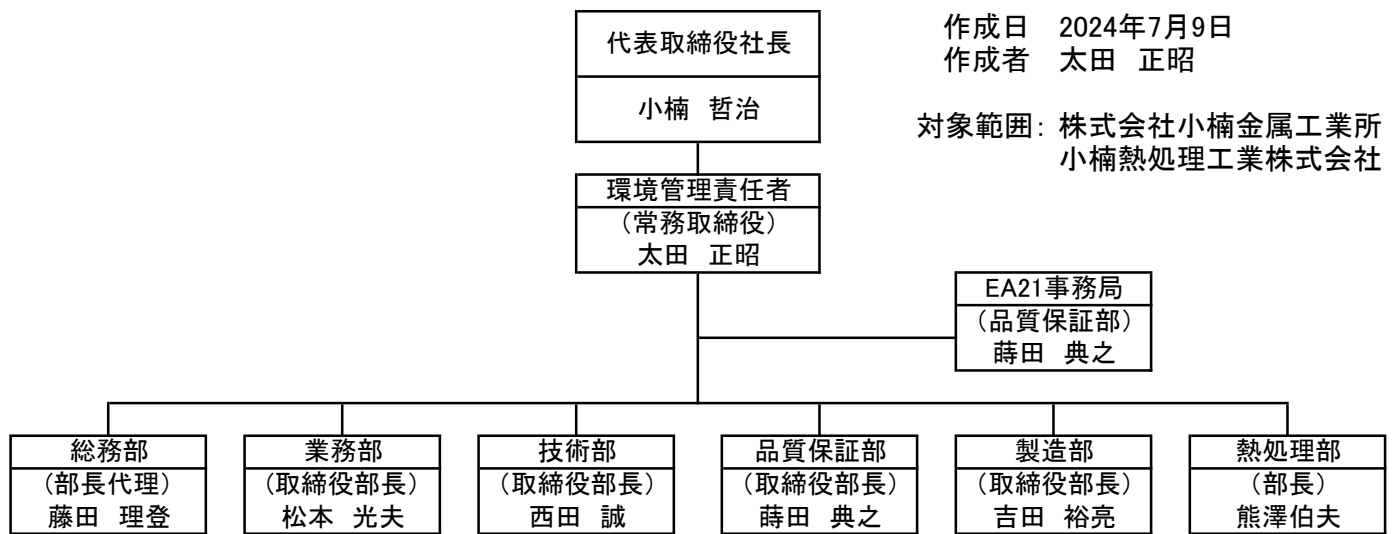
[基本方針]

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量の削減に努めます
 - 1) 電気、軽油、ガソリン等の使用量削減に努めます
 - 2) 3R活動の展開による廃棄物の使用量削減に努めます
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
 - 4) 化学物質の適正使用に努めます
2. 当社に適用される環境関連法、条例遵守します
3. 環境経営の継続的改善を推進します
4. 環境コミュニケーションの実施
 - 1) 社外に環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図っていきます
 - 2) 社内においては、全従業員に環境理念、基本方針を周知し、全社員参画による取り組みを目指します

2022年9月1日

株式会社小楠金属工業所
小楠熱処理工業株式会社
代表取締役社長 小楠哲治

Ⅲ 実施体制



※坪井工場・馬郡東工場・馬郡西部品工場は、製造部に含まれる。

※小楠熱処理工業(株)と馬郡熱処理工場は、熱処理部が管理する。

<関係者の権限と役割>

社長

- ① 環境経営全般に関する責任と権限
- ② 環境管理責任者の任命
- ③ 環境経営に必要な資源の準備
- ④ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
- ⑤ 環境経営方針の制定及び改定
- ⑥ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ⑦ 効率的な実施体制の構築と全従業員への周知
- ⑧ EA21の環境経営システムの運用のために必要となる経営資源(人・もの・資金・情報など)を用意する

環境管理責任者

- ① 環境経営システム全般の運用・管理
- ② 環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③ 取組状況の社長への報告
- ④ 環境経営レポートの作成

EA21事務局

- ① 環境負荷データ等の集計
- ② 環境経営目標・環境経営計画の進行管理
- ③ 「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑤ 環境関連法規等の遵守状況チェック
- ⑥ 環境上の緊急事態の想定と対応策の作成。全体での試行、訓練の実施
- ⑦ 文書・記録の管理

各部門長

- ① 部門の環境経営計画の実施
- ② 部門データの集計
- ③ 部門の問題点把握と是正対策の実施
- ④ 部門取組状況の事務局への報告
- ⑤ 部門の従業員教育

その他の従業員

- ① 自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する

IV 環境経営目標

項目		単位	基準年度	目標年度				
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
			2022年4月 ～ 2023年3月	2023年4月 ～ 2024年3月	2024年4月 ～ 2025年3月	2025年4月 ～ 2026年3月	2026年4月 ～ 2027年3月	
削減率		%	—	-1%	-2%	-3%	-4%	
二酸化炭素排出量		t-CO ₂	5,435	5,381	5,326	5,272	5,218	
		t-CO ₂ /百万円	0.568	0.562	0.557	0.551	0.545	
内 訳	電力	kWh	10,667,973	10,561,293	10,454,614	10,347,934	10,241,254	
	ガソリン	L	7,511	7,436	7,361	7,286	7,211	
	軽油	L	418	414	410	405	401	
	プロパンガス	kg	295,307	292,354	289,401	286,448	283,495	
廃棄物 排出量	産業廃棄物	t	371	367	364	360	356	
	一般廃棄物	kg	11,400	11,286	11,172	11,058	10,944	
水使用量		m ³	13,347	13,214	13,080	12,947	12,813	
化学物質使用量		—	—	適切な管理 ・使用	←	←	←	
環境に配慮した製品づくり (製品不良率)		PPM	272	258	245	233	222	

<備考>

- 2021年度は新型コロナウイルスの影響による生産の落ち込みが続いていたので、回復傾向にあった2022年度を基準年度とした。
- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) -2020年度実績-中部電力ミライズ 調整後排出係数0.424(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- 「化学物質使用量」の削減目標は使用量が非常に少なく、顧客の指定があり代替化が困難なため維持管理とする。
- 「環境に配慮した製品づくり(製品不良率)」の削減率は、前年度比-5%とする。

V-1 環境経営計画

(運用期間:2023年4月～2024年3月)

環境活動項目			責任者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
二酸化炭素 の削減	運 転 管 理	A 不必要なアイドリングの禁止	各課長				
		B 急発進・急加速の禁止	各課長				
		C 不要な荷物を積まない(1回/月チェックする)	品証部長・営業課長				
		D エコドライブ励行・運転管理の実施	品証部長				
		E 同方向への荷物運搬・相乗りの励行	品証部長・営業課長・技術部課長				
		F タイヤの空気圧チェック	技術部課長				
		G エアコンの適正温度設定	営業課長				
	空 調 等	A エアコンの設定温度を夏季28℃、冬季20℃に設定	品証部係長				
		B 空調フィルターの定期清掃(夏前、冬前 2回/年)	各課長				
		C すだれによる西日対策	技術部課長				
		D 窓ガラス等の断熱対策の実施	品証部係長				
	照 明	A 休憩時間の照明OFF	各課長				
		B 不要な照明の消灯	各課長				
		C 使用時以外は、電源OFF(扇風機、ストーブ)	製造・熱処理部各課長				
		D 照明の間引き	製造・熱処理部各課長				
		E 高効率照明への変更(LED化)	品証部長・技術部課長				
		F 照明器具清掃	技術部課長				
		G 局所照明設置	技術部課長				
	省 エ ネ	A 省電力機器の購入(ソノイットバルブ他)	技術部課長				
		B インバータ取付けによる省エネ	技術部課長				
		C 切削ポンプ小容量化(小型マシニング、ベット流し他)	技術部課長				
		D オイルコンのフィルター清掃	技術部課長				
		E アクкумуляター取付(加工時間の長い設備)	技術部課長				
		F 設備の待機時間の省エネ	技術部課長				
		G コンプレッサーのエア圧力チェック	技術部課長				
		H コンプレッサーのエアフィルター清掃(1回/月)	製造・熱処理・技術部課長				
		I エア漏れチェック・修理(2回/年)	製造・熱処理・技術部課長				
		J 測定機器等のエア漏れチェック	品証部長				
		K 未使用設備の電源OFF(デジタル測定機器・OA機器・他)	営業部課長				
		L OA機器の節電(PC待機モード他)	技術部課長				
		M 刃具寿命の延長	製造・熱処理部課長				
		N 5S活動の実施	各課長				
		O LPG使用量の削減(熱処理時間の短縮)	熱処理部課長				

V-2 環境経営計画

(運用期間:2023年4月～2024年3月)

環境活動項目			責任者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
廃棄物の削減	A	コピー用紙の両面使用	各課長				
	B	ミスコピーの削減	品証部係長				
	C	データ化による不要な印刷物の廃止	技術部課長				
	D	封筒などの再利用	品証部係長・営業部課長				
	E	廃油(作動油・防錆油)の削減	品証部長				
	F	油漏れチェック(2回/年)	製造・熱処理・技術部課長				
	G	クーラント漏れ・飛散・修理(2回/年)	製造・熱処理部課長				
	H	油・クーラント持出し削減	製造・熱処理部課長				
	I	分別ルールの徹底	品証部長				
	J	出荷箱の延命化	品証部長				
	K	輸出入時のトレイ再利用	営業部課長				
	L	木材パレットの再利用	営業部課長				
	M	廃棄設備の部品の再利用	技術部課長				
	N	産業廃棄物の分別回収	技術部課長				
	O	遊休品の利用(電装、治具、刃具、ホルダー類)	技術部課長				
	P	老朽設備O/HIによる再利用	技術部課長				
	Q	使用済刃具の分別回収による資源化	技術部課長				
	R	ハンフィルターミストコレクター採用による、紙・布フィルターの廃止	技術部課長				
	S	リキッドコレクター設置によるクーラント持ち出し量低減	技術部課長				
水使用量の削減	A	手洗い・洗い物時の節水呼びかけ・表示による意識づけ	技術部課長・品証部係長				
	B	洗車時の節水	営業部課長				
	C	水漏れ点検・修理(2回/年)	製造・熱処理・技術部課長				
	D	「節水」シール表示	技術部課長				
化学物質	A	使用化学物質のSDS入手(ノルマルヘキサン、硝酸、塩酸など)	営業部課長・品証部係長				
	B	購入量・使用量の把握	品証部係長				
	C	使用量削減の検討	品証部係長				
	D	購入・保管・使用・廃棄段階の適正管理方法の検討	品証部係長				
環境に配慮した製品づくり	A	環境に配慮した梱包荷姿、適正サイズの袋等の検討	品証部係長				
	B	不良品5%削減(過去3年、ベストの年がベンチマーク)	品証部長・製造・熱処理・技術・営業部課長				
環境経営の継続的改善(顧客満足度の向上)	A	顧客との環境コミュニケーション推進します。	営業部課長				
	B	顧客満足度の向上等を図ります	営業部課長				
	C	工程検査チェックシートに環境項目追加し監査する	品証部係長				

VI 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

①運用期間(2023年4月～2024年3月)の環境経営目標の実績

項目		単位	基準期間					
			2022年4月 ～ 2023年3月	2023年4月 ～ 2024年3月				
			基準値	目標削減率	目標値	実績値	実績削減率	評価
二酸化炭素排出量		t-CO ₂	5,435	-1%	5,381	4,594	-15.5%	○
内訳	電力	kWh	10,667,973	-1%	10,561,293	9,897,103	-7.2%	○
	ガソリン	L	7,511	-1%	7,436	7,045	-6.2%	○
	軽油	L	418	-1%	414	528	26.3%	×
	プロパンガス(LPG)	kg	295,307	-1%	292,354	286,320	-3.0%	○
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	371	-1%	367	396	6.7%	×
	一般廃棄物	kg	11,400	-1%	11,286	11,400	0.0%	△
水使用量		m ³	13,347	-1%	13,214	12552	-6.0%	○
化学物質使用量		-	適切な管理・ 使用した		適切な管理・ 使用する	適切な管理・ 使用した		○
環境に配慮した製品づくり (製品不良率)		PPM	272	-5%	258	200	-26.5%	○

<評 価>

軽油	原因	小型トラック1台 新規購入(増加)により軽油使用量増加
	是正	エコドライブ、物流見直し等、二酸化炭素排出量の削減活動を継続
産業廃棄物	原因	社員寮の片付けによる廃棄物増加
	是正	再利用等の廃棄物削減活動を継続

②次年度の環境経営目標 変更なし

VII-1 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(運用期間:2023年4月～2024年3月)

環境活動項目			責任者	評価	コメント	今後(次年度)の取組内容
二酸化炭素の削減	運転管理	A unnecessaryアイドリングの禁止	各課長	○	従業員のエコドライブ意識は浸透している。次年度も継続実施する。タイヤの空気圧チェックについては検討する必要がある。	継続実施
		B 急発進・急加速の禁止	各課長	○		継続実施
		C 不要な荷物を積まない(1回/月チェックする)	品証部長 営業課長	○		継続実施
		D エコドライブ励行・運転管理の実施	品証部長	○		継続実施
		E 同方向への荷物運搬・相乗りの励行	品証部長 営業課長 技術部課長	○		継続実施
		F タイヤの空気圧チェック	技術部課長	×		継続実施
		G エアコンの適正温度設定	営業課長	○		継続実施
	空調等	A エアコンの設定温度を夏季28℃、冬季20℃に設定	品証部係長	○	エアコンの温度設定、空調フィルターの定期清掃は、各職場実施できている。今後も継続実施していく。	継続実施
		B 空調フィルターの定期清掃(夏前、冬前 2回/年)	各課長	○		継続実施
		C すだれによる西日対策	技術部課長	○		継続実施
		D 窓ガラス等の断熱対策の実施	品証部係長	○		継続実施
	照明	A 休憩時間の照明OFF	各課長	○	休憩時間の照明OFF、不要な照明の消灯は継続できている。今後も実施していく。 照明の間引きが不十分な箇所は、今後検討していく。 照明器具の清掃については、LEDに交換して間もないこともあり清掃する必要があまりなかった。	継続実施
		B 不要な照明の消灯	各課長	○		継続実施
		C 使用時以外は、電源OFF(扇風機、ストーブ)	製造・熱処理部 各課長	○		継続実施
		D 照明の間引き	製造・熱処理部 各課長	△		継続実施
		E 高効率照明への変更(LED化)	品証部長 技術部課長	○		継続実施
		F 照明器具清掃	技術部課長	△		継続実施
		G 局所照明設置	技術部課長	○		継続実施
	省エネ	A 省電力機器の購入(ソノイト・ハルブ他)	技術部課長	—	省電力機器交換による省エネ対策は、不具合、故障時に交換していく。今年度は機会がなかった。刃具寿命延長の実施が昨年度より改善された。	継続実施
		B インバータ取付けによる省エネ	技術部課長	—		継続実施
		C 切削ポンプ小容量化(小型マシン、ベクトル流し他)	技術部課長	—		継続実施
		D オイルコンのフィルター清掃	技術部課長	△		継続実施
		E アキュムレーター取付(加工時間の長い設備)	技術部課長	—		継続実施
		F 設備の待機時間の省エネ	技術部課長	○		継続実施
		G コンプレッサのエア圧力チェック	技術部課長	○		継続実施
		H コンプレッサのエアフィルター清掃(1回/月)	製造・熱処理・ 技術部課長	○		継続実施
		I エア漏れチェック・修理(2回/年)	製造・熱処理・ 技術部課長	○		継続実施
		J 測定機器等のエア漏れチェック	品証部長	○		継続実施
		K 未使用設備の電源OFF(デジタル測定機器・OA機器・他)	営業部課長	○		継続実施
		L OA機器の節電(PC待機モード他)	技術部課長	○		継続実施
		M 刃具寿命の延長	製造・熱処理部 課長	○		継続実施
		N 5S活動の実施	各課長	○		継続実施
		O LPG使用量の削減(熱処理時間の短縮)	熱処理部課長	○		継続実施

<備考>

評価判定: ○(良くできた) △(まあまあできた) ×(できなかった) - (実施が見送られた)

VII-2 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(運用期間:2023年4月～2024年3月)

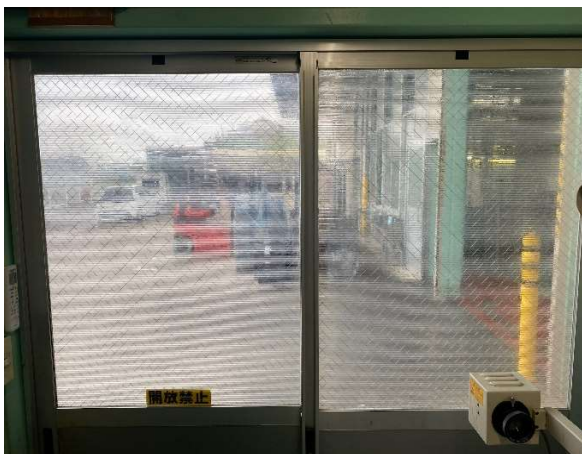
環境活動項目		責任者	評価	コメント	今後(次年度)の取組内容
廃棄物の削減	A コピー用紙の両面使用	各課長	○	コピー用紙の両面使用、ミスコピーの削減等、継続実施し、データ化による印刷物の削減を検討する。 老朽設備のオーバーホール、遊休品(刃具、ホルダー等)の再利用を継続実施していく。 クーラント漏れ・飛散改善、持出し削減は今後進めていきたい。	継続実施
	B ミスコピーの削減	品証部係長	○		継続実施
	C データ化による不要な印刷物の廃止	技術部課長	○		継続実施
	D 封筒などの再利用	品証部係長・営業部課長	○		継続実施
	E 廃油(作動油・防錆油)の削減	品証部長	○		継続実施
	F 油漏れチェック(2回/年)	製造・熱処理・技術部課長	○		継続実施
	G クーラント漏れ・飛散・修理(2回/年)	製造・熱処理部課長	△		継続実施
	H 油・クーラント持出し削減	製造・熱処理部課長	△		継続実施
	I 分別ルールの徹底	品証部長	○		継続実施
	J 出荷箱の延命化	品証部長	○		継続実施
	K 輸出入時のトレイ再利用	営業部課長	○		継続実施
	L 木材パレットの再利用	営業部課長	○		継続実施
	M 廃棄設備の部品の再利用	技術部課長	○		継続実施
	N 産業廃棄物の分別回収	技術部課長	○		継続実施
	O 遊休品の利用 (電装、治具、刃具、ホルダー類)	技術部課長	○		継続実施
	P 老朽設備O/Hによる再利用	技術部課長	○		継続実施
	Q 使用済刃具の分別回収による資源化	技術部課長	○		継続実施
	R ノンフィルターミストコレクター採用による、紙・布フィルターの廃止	技術部課長	—		継続実施
	S リキッドコレクター設置によるクーラント持出し量低減	技術部課長	○		継続実施
水使用量の削減	A 手洗い・洗い物時の節水呼びかけ・表示による意識づけ	技術部課長・品証部係長	○	節水の呼び掛け・意識付けを継続実施していく。 節水シールの表示は一通り完了した。	継続実施
	B 洗車時の節水	営業部課長	○		継続実施
	C 水漏れ点検・修理(2回/年)	製造・熱処理・技術部課長	○		継続実施
	D 「節水」シール表示	技術部課長	○		完了
化学物質	A 使用化学物質のSDS入手 (ノルマルヘキサン、硝酸、塩酸など)	営業部課長・品証部係長	○	現状の把握、適切な管理を継続していく。 適正な管理方法の教育を定期的実施していく。	継続実施
	B 購入量・使用量の把握	品証部係長	○		継続実施
	C 使用量削減の検討	品証部係長	△		継続実施
	D 購入・保管・使用・廃棄段階の適正管理方法の検討	品証部係長	△		継続実施
環境に配慮した製品づくり	A 環境に配慮した梱包荷姿、適正サイズの袋等の検討	品証部係長	○	不良品5%削減が昨年度より改善された。次年度も継続実施する。	継続実施
	B 不良品5%削減 (過去3年、ベストの年がベンチマーク)	品証部長・製造・熱処理・技術・営業部課長	○		継続実施
環境経営の継続的改善(顧客満足度の向上)	A 顧客との環境コミュニケーションを推進します。	営業部課長	○	顧客とのコミュニケーションは引き続き実施していく。 チェックシートの項目追加を検討する。	継続実施
	B 顧客満足度の向上等を図ります	営業部課長	○		継続実施
	C 工程監査チェックシートに環境項目を追加し監査する	品証部係長	△		次年度取組予定

<備考>

評価判定: ○(良くてきた) △(まあまあできた) ×(できなかった) - (実施が見送られた)

VIII 当社の取組み

第4工場測定室窓ガラス 断熱シート貼付



照明のLED化



油水分離槽清掃



使用済刃具の分別回収置場の設置



防汚フィルター変更による廃棄物減容化及びコスト削減

改善前



改善後



Ⅹ 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2024年 7月 9日

評価者 蒔田典之

法律・条例			条項	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守結果
義務	法令・条例	騒音規制法	第5条	規制基準値の遵守	騒音の測定	○
			第6条	特定施設の届出	コンプレッサー	○
			第8条	特定施設の数等の変更の届出	変更無し	○
		振動規制法	第5条	規制基準値の遵守	振動の測定	○
			第6条	特定施設の届出	コンプレッサー	○
			第8条	特定施設の変更等の届出	変更無し	○
		大気汚染防止法	第6条	ばい煙発生施設設置の届け出	熱処理(高周波焼入れ)	○
			第16条	ばい煙量の測定	ばい煙量の測定(2回/年)	○
		浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検、清掃の実施(1回/年)	○
			第10条の2	浄化槽の使用開始報告書の提出	使用開始から30日以内に県知事へ提出	○
			第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回/年)	○
		廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第6条の2 第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
			第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
			第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
			第12条の3 第1項	マニフェストの交付		○
			第12条の3 第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○
			第12条の3 第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	○
			第12条の3 第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○
			第12条の3 第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのD、E票の期間内返却	○
		消防法	第9条の4	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱基準	・市町村条例で定める ・指定可燃物:紙屑、プラスチック類等 指定数量以上の危険物の保管の 消防署への届出	○
			第11条	指定数量以上の危険物保管の届け出		○
			第13条	危険物の取扱作業に關しての保安の監督	危険物取扱者の設置	○
			第17条の3	消防用設備等の点検及び報告	消火設備の定期点検	○
		家電リサイクル法(特定 家庭用機器再商品化法)	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電廃棄時のサイクル料金の支払	—
		自動車リサイクル法(使用済自動車 の再資源化等に関する法律)	第8条	使用済自動車の引渡義務		—
			第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払(廃車時)	—
		省エネ法(エネルギーの 使用の合理化に関する法律)	第8条第3項	エネルギー管理統括者、エネルギー管理企画推進者選任・解任の届出	エネルギー使用量(原油換算値)が合計して1,500kl/年度以上の事業者は届出	○
			第7条第3項	エネルギー使用状況の届出	翌年度5月末日までに提出	○
			第16条第1項	定期報告書の提出	翌年度7月末日までに提出	○
		フロン排出抑制法 (フロン類の使用の合理化 及び管理の適正化に関する法律)	第16条	冷凍空調機器:全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施 圧縮機電動機定格出力に応じ有資格者による「定期点検」 ②空調機(50kW以上)1年に1回以上 ③空調機(7.5kW～50kW未満)3年に1回以上 ④冷凍冷蔵機器(7.5kW以上)1年に1回以上	①企業・法人の管理者が確認(業務用エアコン) ②、③、④ 7.5kW以上の業務用エアコン 無し ④7.5kW以上のチラー定期点検(1回/年)	○
			第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務	○
責務・努力	法令	リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法	第4条	指定再資源化製品のリサイクル(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	○

2. 違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情は過去3年間ありませんでした。

X 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 2024年 7月12日

1・見直し関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	☒	記録・文書として作成しました
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒	軽油の使用量、廃棄物排出量は未達となりました
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒	継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	記録に記載いたしました
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	特に問題ありませんでした
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	特に問題ありませんでした
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒	継続して取り組みます
	8	その他()	☐	

2・代表者による全体評価・見直し指示

日々の取組みに加え、生産量が減少している中で、目標を概ね達成することが出来ました。
毎月の成果報告により、社内全体に環境への意識が育ってきた様にも感じます。
今後は削減の為、既存品からの置き換えなど、新しい技術を取り入れることも重要です。
情報収集を積極的に行い、活用していきましょう。

2024年 7月 12日

株式会社 小楠金属工業所

代表取締役社長 小楠 哲治

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有 ☒ 無	
2	環境経営目標	有 ☒ 無	
3	環境経営計画	有 ☒ 無	
4	環境に関する組織(実施体制含め)	有 ☒ 無	
5	その他のシステム要素	有 ☒ 無	
6	その他(外部への対応)	有 ☒ 無	